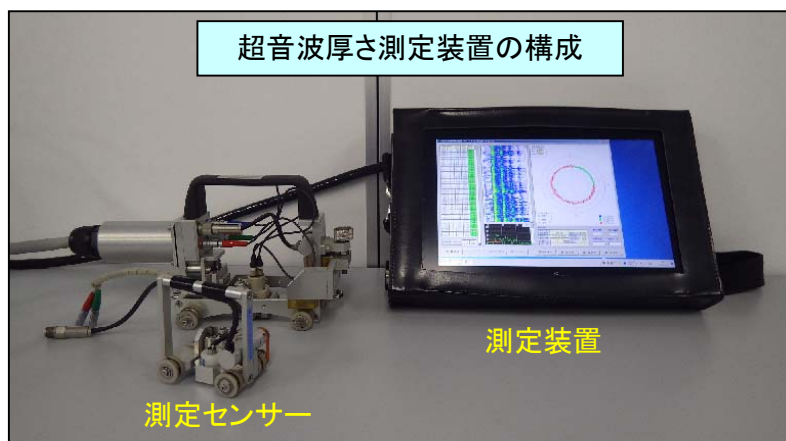


超音波厚さ測定装置

小口径の鉄管や配管などの板厚を
手軽に精度良く、連続測定します！



- ・手が届く範囲ならば、狭い箇所でも簡単に板厚を連続測定できます。
- ・1mmピッチで連続測定するので、孔食など小さな腐食も見逃しません。
- ・連続測定データを解析することで、精度のいい応力検討や設備診断が可能です。



・小型バッテリーを電源とすることで、狭い箇所への搬入も容易

・超小型センサー採用で、細い配管にも対応可能

超音波厚さ測定装置

基本性能

【測定装置(標準タイプ)】

- 測定範囲
 - ・鉄管直径 30cm以上
 - ・板厚 5mm~80mm
 - ・塗膜厚 0.1mm~1mm
- 測定精度
 - ・板厚 ±0.2mm以内
 - ・塗膜厚 ±0.02mm以内
 - ・測長距離 ±0.2%以内
 - ・測定間隔 ±1mm

【配管用測定装置】

- 測定範囲
 - ・鉄管直径 5cm以上
 - ・板厚 2mm~5mm
- 測定精度
 - ・板厚 ±0.2mm以内
 - ・測長距離 ±0.2%以内
 - ・測定間隔 ±1mm

ロボット、周辺機器の仕様



- ・寸法 L260×W107×150mm
- ・重量 0.9kg
- ・板厚用超音波センサー 1台
- ・塗膜厚用電磁過流センサー 1台



- ・寸法 L72×W50×H81mm
- ・重量 0.2kg
- ・板厚用超音波センサー 1台

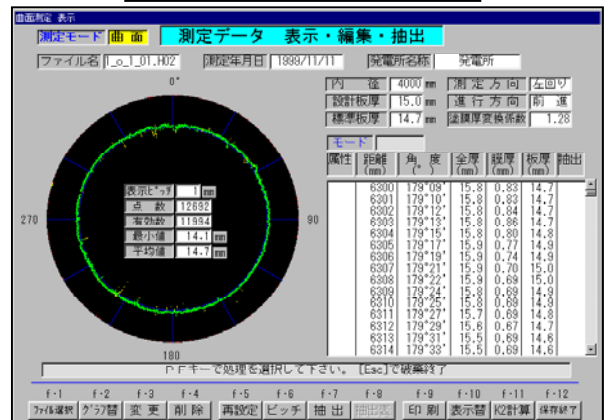
周辺機器名称	諸元		周辺機器名称	諸元	
測定制御装置	寸法	L350×W330×135mm	測定ケーブル	長さ	5m、10m
	重量	10.8kg	バッテリー	寸法	L260×W80×H140mm
	板厚・塗膜データ変換			重量	2.8kg
	電源	AC100V、DC24V		定格出力	25.2V

測定作業

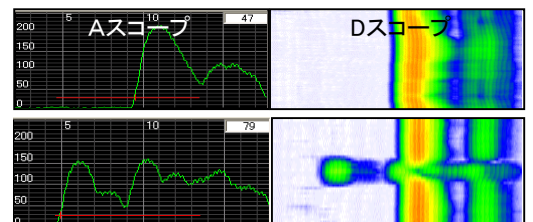
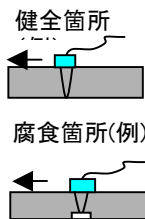
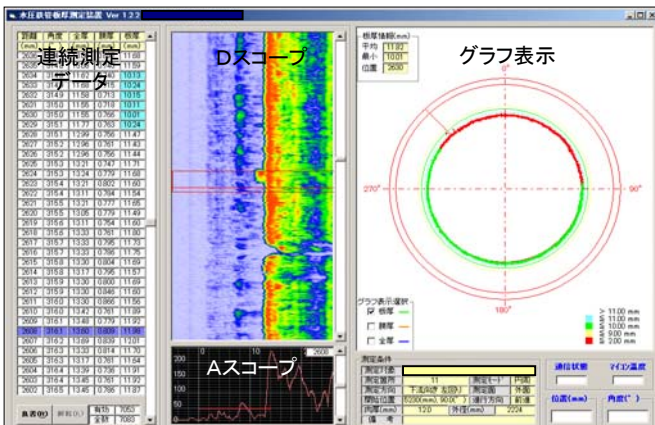


- ・作業員は3名を標準とします。
- ・足場の仮設は不要です。
- ・測定速度は1.5m/分を標準とします。
- ・測定触媒は水を使用します。
- ・測定結果はその場でパソコン画面で確認できます。

測定データ表示



測定結果解析・診断例



- ・鉄管外部から、鉄管内面の腐食状況を把握できます。
- ・鉄管本体に潜む非金属介在物など、ラミネーションの把握ができます。
- ・塗膜の劣化箇所が把握できます。
- ・鉄管全体の腐食傾向の把握ができます。
- ・鉄管の材質、構造安全性、耐久性などを評価して、総合的機能診断を実施するとともに、維持管理計画を提案できます。